



駒澤会だより

第36号

「利他行」の実践に感謝

令和4年7月22日
駒澤大学駒澤会 発行

総長 永井 政之
(駒澤会名誉会長)

昭和46年(1971)発足の駒澤会は昨年10月にめでたく50周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症に対する各種の対策、とりわけワクチン接種の効果もあがり、6月4日に開かれた記念祝賀会も多くの関係者のご出席をえ、無事に円成致しました。

数年間のパンデミックからは何とか脱出できそうですが、それでも手放しでは喜べそうもなく、「油断のない毎日を過ごす」のも「新常态」のありようの一つと言えるかもしれません。いずれにせよ直近ではロシアによるウクライナ侵攻、それによる多様で甚大な影響が世界に拡散しつつある今、気がかりな出来事は止むことがありません。考えてみれば、世の中の出来事はすべて人間の営みそのものですから、やはり誰にとってもよい結果になるための努力を、私たちは怠ってはいけません。

想定を超える現実の中で迎えた新年度です。本学も他大学と同じように、2年半の間のオンライン中心の授業から、対面を重視しつつのハイブリット授業への移行、またワクチン接種やPCR検査の実施などなど、できる限りの工夫をして現在を迎えることができました。

3,000人を優に超える卒業生と新入生の入れ替わりも無事に済み、4月5月の学校行事もほぼ予定通りに進行し、10月には新図書館「智の蔵」の落慶式も予定されていますから、とりあえず旧に復しつつある中での船出とすることができるよう思います。

このように可能な限りであるにしても、大学が以前と同じように運営されている背景には、「御縁」のある方々による陰に陽にの御協力があることは疑いありません。それらサポーターの一つ「駒澤会」が、教育後援会OBによって組織され、本会誌の発行はもとより、会員相互の懇親を深めるさまざまな集い、箱根駅伝の応援など多方面にわたって活動されていること、中でも学生への経済的援助に力を注がれていることは、すでに御承知の通りです。駒澤会奨学金の恩恵を受けた学生は累計1,160人に及ぶと仄聞しておりますし、昨年の「学生への『食』支援プロジェクト」へのご協力も記憶に新しいところです。

志高く、真摯に学びに取り組みつつも経済的に困窮している若者への奨学金等の援助は、仏教や禅で説かれる「利他行(見返りなしに手をさしのべる)」に通ずると言っても過言ではないでしょう。それが受給する学生への「早天の慈雨」となり、何時の日か、彼ら自身が「天下の陰涼(灼熱の日照りにあえぐ人々のための木陰)」となってくれることを信じています。

今は、駒澤大学での学びを望んで入学された学生さん、また御子女を駒澤大学に託して下さった御父母、関係する皆さまのご期待に応えることが、私たち教職員の責務であることを心底から確認するとともに、皆さまの活動の基本にある、「駒澤愛」をより強く共有すべく、努力を続けることをお約束いたします。何卒、今後とも叱咤激励を賜りますようお願いいたします。



令和4年度 委員総会開催報告

総務部長 堀 純一郎

令和4年5月21日（土）午後1時半より、駒澤大学会館246の7階会議室において、駒澤大学駒澤会の委員総会が開催されました。コロナ禍により、令和2年、3年は紙面開催となったため、リアルな場での開催は3年ぶり。出席者は22名（事務局除く）でした。進行は、恒例により総務部長（私・堀）が担当しました。

冒頭、駒澤会一戸会長が挨拶に立ち、2年前に会長となって以来初めて対面で開催できる喜びと、コロナ禍が収束に向かっており6月4日（土）の駒澤会創立50周年記念祝賀会（渋谷のセルリアンタワーで開催）、並びに6月25日（土）に予定している初夏の親睦会（青山の「俺のフレンチ・イタリアン」でのLIVE演奏付きのランチ会＝厚生部企画）の申し込みが盛況であることなど、明るい話題で始まりました。

その後、規約に則り会長が議長となり、議事に入りました。

【審議事項】

1.令和3年度各部活動報告の件、2.令和3年度決算及び基金管理状況報告の件、3.会計監査報告の件、4.令和4年度各部活動計画の件、5.令和4年度予算案の件、6.慶弔内規改正の件、7.役員改選の件・・・以上の審議事項は、全て満場一致で承認されました。なお、6月1日付の役員改選では、吉田稔・厚生部副部長が厚生部長に就任することが決まりました。

【報告事項】

1.令和4年度駒澤会年間行事予定表、2.駒澤会入会者数・奨学金について、3.駒澤会創立50周年記念祝賀会について・・・以上の事項については、事務局の谷国遥さんより報告されました。

なお、総会に出席した会員の松田素子さんが厚生部に所属することになったこともお知らせします。

リアルな開催となった委員総会でしたが、コロナ禍を鑑み従来のような懇親会は開催しませんでした。来年度は、コロナ禍前のように、総会への総長・学長のご出席を賜るとともに、駒澤大学教育後援会の皆さんとの親睦も図れる懇親会を深沢キャンパス（洋館ホール）で盛大に開催できることを願っております。



駒澤会創立 50 周年記念祝賀会開催報告

駒澤会 50 周年記念事業実行委員長 山田 直重

令和 4 年 6 月 4 日土曜日の関東地方は朝から青空が広がり、また新緑の爽やかな風が流れるまさに祝賀に相応しい一日でした。昭和 46 年の 10 月に発足した駒澤会は昨年の 10 月で 50 年の時を重ねる事になります。そこで昨年度の行事予定では秋に駒澤会創立 50 周年記念祝賀会を開催する予定でした。しかし、昨年の夏以降コロナウイルスのデルタ株が猛威を奮い新規コロナ感染患者数が増加し秋の祝賀会開催は中止となりました。駒澤会創立 50 周年記念での記念誌発行は感染対策を実施し会議を重ね昨年 12 月には無事に会員の皆様へお届けする事が出来ました。その後祝賀会を今年 2 月に開催の「駒澤会新年賀詞交歓会」と兼ねて、「駒澤会創立 50 周年記念祝賀会兼新年賀詞交歓会」としてご案内も出させていたのですが、正月明けからのコロナウイルスオミクロン株によるコロナウイルス感染第六波が日本を襲い、祝賀会は 6 月 4 日を最後の延期と決め、2 月の新年賀詞交歓会と兼ねる祝賀会は中止となりました。2 月初旬には全国で 1 日に 7 万人以上となっておりました新規コロナ感染患者数は、その後徐々に減り続け蔓延防止等の規制も解除となり 6 月 4 日を迎えました。その 6 月 4 日にセルリアンタワー東急ホテル 39 階ルナールの間で 17 時より「駒澤会創立 50 周年記念祝賀会」が開催されました。この日までの 2 年余りの期間は駒澤会で行う飲食を伴う行事は全て中止となっておりました。

6 月 4 日定刻の 17 時となりますと赤堀菊絵駒澤会副会長の司会進行により「駒澤会創立 50 周年記念祝賀会」がスタートしました。まず駒澤会一戸隆男会長が挨拶を述べ、次に僭越ながら私も挨拶を述べさせていただきました。その後来賓の方よりご挨拶をいただく事



となりました。学校法人駒澤大学理事長山本健善様、駒澤会名誉副会長でもある駒澤大学学長各務洋子様より大変有難いお言葉をいただきました。

当日、所用によりご欠席されました駒澤会名誉会長で駒澤大学総長永井政之様からは祝電をいただきまして駒澤会の堀純一郎総務部長が代読で祝電

を披露しました。さらに教育後援会からは久保伸吾教育後援会会長様は所用のため欠席されましたが各部の役員の方を含め9名ものご参加をいただき、櫻井秀則教育後援会副会長様よりご挨拶をいただきました。また駒澤大学同窓会の大石孝会長様のご挨拶をいただきました。東京都でまだ1日に千人以上のコロナウイルス新規感染者が出ている中ではありましたが、多くのご来賓のご出席を賜り有難いばかりでございました。

次に駒澤会前会長の森屋正治顧問のご発声による乾杯となり、お食事とご歓談の時間へと移りました。ご挨拶で披露されるお話から50年前に父兄会を終えられた初代駒澤会黒田白純会長および駒澤大学の藤田俊訓学監（現在の副学長）が中心となって駒澤会を結成されたことへの感謝と敬意が伝わってまいりました。

現在のまだ完全終息とはならないコロナ禍での駒澤大学の様子や教育後援会および同窓会の活動状況をお伝えいただきました。学生への奨学金につきまして、2年前より文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」がスタートし、学生からの奨学金応募は大学の窓口で受付することになり



りました。そのうえで一昨年と今年の奨学金支給は、まず国からの奨学金を支給し次に駒澤大学100周年記念奨学金を支給すると応募の学生全員へ支給できたとの事です。

祝賀会の中締めは長谷部八朗駒澤大学前学長先生よりお言葉をいただきました。先生のお話は駒澤会の始まりには初代会長をはじめ会員の



方々が諦めずに努力を続け奨学金基金をつくられたことなど心に響くお話でした。祝賀会最後は木村朋子駒澤会副会長の言葉で閉会となりました。

結びに会員の皆様にはこれからも駒澤会の活動にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。また大学関係者の皆様、教育後援会の皆様ならびに同窓会の皆様にはご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。





特別企画

活躍する駒大生インタビュー Vol.1 プロレーサー

辻本始温さん

つじもと しおん（グローバル・メディア・スタディーズ学部）3年
現役大学生でありながら、モータースポーツ大会「KYOJO CUP」*
シリーズ2021年チャンピオンを獲得。その功績が認められ文部科学
大臣賞を受賞。今季からは男女混合で競う「FIAF4」へフィールド
を広げ挑戦中。三重県出身。

Instagramアカウント@shion_komazawa.gms

*=女性プロレーサーのみが出場する大会で、年間4回のレースを行いシリーズチャンピオンが決定する

インタビュアー（以下インタ）：モータースポーツ大会「KYOJO CUP」シリーズ2021年チャンピオンの獲得と文部科学大臣賞受賞、またその功績を讃えての学長賞受賞おめでとうございます！

辻本さん（以下敬称略）：ありがとうございます。

インタ：大学生でありながら、プロのレーサーとして活躍されていて素晴らしいです！モータースポーツを始めたきっかけを教えてください。

辻本：モータースポーツとの出会いのきっかけは父です。父が趣味でやっていたので、小さい時からレースを見ていました。父は仕事をしているのであまりレースの練習はできなくて、他の選手に抜かされているのを見て「私が父の代わりに抜かしたい！」と思っていました（笑）小学4年生からレースに出場して、鈴鹿サーキットでゴーカートのようなレーシングカートに乗り、中学2年生の時に海外のレースに出場して認めてもらえたことで、「ウーマンインモータースポーツ」公認のレースに世界で1人だけ出場する女子に選んでいただけました。この経験は今の自分に繋がっていると感じます。

インタ：プロのレーサーを目指したきっかけは何ですか？

辻本：私はもともとF1ドライバーではなくて、F1のテストドライバーになりたかったんです。テストドライバーは、F1のマシンが出来上がる時に、性能がちゃんとしているか、ちゃんと走れるか確認する役目があります。F1ドライバーより先にF1で走れるのがテストドライバーで、私はそれにすごく憧れています。女性でテストドライバーになった方が海外で1人だけいて、それが羨ましくてかっこいいな～と思って。そのためにまずはプロのレーサーを目指しました。

インタ：昨年チャンピオンになられた「KYOJO CUP」は女性ドライバーのみの大会ですね。

辻本：はい。女性のみが出場できるレースで、約20台で競います。今年の「FIAF4」というカテゴリは、42台で競うレースで、男性が40人、女性は2人です。

インタ：男女混合なんですね！

辻本：珍しいですね！一般のスポーツと違ってモータースポーツは昔からずっと男女混合が普通で、女性だからといってハンデがあるわけではありません。

インタ：「KYOJO CUP」と「FIAF4」の違いは何でしょうか。

辻本：まず試合数が違います。KYOJO CUPは年に鈴鹿か富士で4戦でしたが、FIAF4は東北から九州までのサーキットで14戦あります。また、マシンも全く違いますね。KYOJO CUPはVITAという自動車に近い形状のマシンで、ギアもマニュアル車と同様です。対してFIAF4はF1レースで見るフォーミュラという車体の低いマシンに乗っていて、ギアはシーケンシャルギア*です。カーブする時に少しでも風の抵抗を和らげるために、（つづく）

*=ハンドルから手を離さず左右のレバーで操作するパドルシフト



FIAF4レースに挑む辻本さん

辻 本：寝姿勢になるので、体幹や上半身のトレーニングは欠かせません。
 インタ：前を見るのも大変そうですね。車体に大学のロゴがありますね！有名なゲーム会社がスポンサーなのですね。
 辻 本：そうなんです！大学のロゴを綺麗に写してもらえて嬉しいです。今年はATEAM様がスポンサーになってくださり、ファイナルファンタジーカラーで走らせていただいております。マシンに乗るには書類・実技・面接のオーディションを受けなければならず、1つのチームにシートは2つしかないのオーディションを勝ち抜くのも大変です。実技では、マシンの掃除は行き届いているか、マシンの性能を理解して初対面のエンジニアとコミュニケーションが取れているか、などプロ意識を問われます。



駒澤大学のロゴが！

インタ：それを勝ち抜いて今年のレースに出場されているのですね。辻本さんの思う、モータースポーツの魅力は何ですか？
 辻 本：努力が報われるのがモータースポーツで、そこが魅力だと思っています。モータースポーツはレース全体を通して計画がすごく大事で、人との関係や日頃のトレーニングも必要。全部が噛み合っってやっと結果がでます。チームで計画を立てて頭を使ってレースに臨んでいて、レース中も駆け引きや計画をコンマ何秒で考えています。そういった点を知ってもらってみたいですね、面白いんじゃないかなと思います！

プロレーサー × 大学生

インタ：駒澤大学にご入学を決めた理由は何ですか？
 辻 本：高校3年生の受験シーズンにたまたま都内のトレーナーを訪ねて、駒沢公園を歩いたら「駒澤大学」って文字がバンと見えて、ここいいじゃん！となりました（笑）調べたら運動の学部はないけれど、私が学びたい分野の「メディア」と「英語」が学べるので、グローバル・メディア・スタディーズ学部を選びました。中学生の時に海外に行って英語が話せなかったことが悔しくその上、モータースポーツをもっと知ってもらいたくてメディアを専攻したいと思いました。周りは高校を卒業したらレーサーになる方が多いんですが、私はそれがなぜか嫌で（笑）勉強とレーサーを両立できる道を示したい！と思っています。今は授業が本当に楽しいです！



左から山本広報部副部長と辻本さん、齋藤広報部長

インタ：大学生活とプロレーサーの両立する生活で、大変なことと楽しいことは何ですか？
 辻 本：大変なことはスケジュール管理です。レースに出るには授業を欠席しないといけない場合があるので、単位を落とさないように管理しています。楽しいことは、友達と話せることですね。レース後に友達がLINEで試合結果見たよ〜すごいね！と連絡をくれると嬉しいですし、なんでも話せる友達がいるので、気持ち的に楽に過ごせて楽しいです！

インタ：今年の目標を、レーサー目線と学生目線で教えてください。
 辻 本：両方の目線での目標になりますが、文武両道です。レースの結果でいうと、今年から新しいカテゴリに挑戦しているので、10位以内を目指しています。今年はトップというよりは、確実に達成できる目標を立てたいと思っています。来年に繋がる走りができたらなと思います。あとは、自分のレースを見て興奮したり、頑張ってるなって思ってもらえるようなレースにしたいです！

インタ：最後に、駒澤会会員へメッセージをお願いします。
 辻 本：学生支援プロジェクトでは美味しいご支援をありがとうございました！一人暮らしなので、とても助かりました。これを機にモータースポーツに興味を持っていただけたらとても嬉しく思います！



インタ：辻本さん、ありがとうございました。
 辻 本：ありがとうございました！

読者限定★抽選プレゼントをご用意しました！
 辻本さんから、サイン入りTシャツをいただきました！
 読者アンケートに回答してくださった方のうち、抽選で2名の方にプレゼントいたします。奮ってご応募ください！
 【回答期限】2022年9月16日（金）23：59まで
 【回答方法】右記QRコードを読み取り、Googleフォームを入力

3年ぶりの開催「初夏の親睦会」

厚生部長 吉田 稔

新型コロナウイルスの感染拡大により、長らく皆さまとの交流の機会が遠ざかっておりましたが、満を持して恒例の「初夏の親睦会」を6月25日（土）に開催しました。

東京都青山にある「俺のフレンチ・イタリアン」にて一流のミュージシャンによるLIVE演奏を聴きながらお食事をいただく「ランチ会」を企画しました。お店は、開店前から行列ができるほどの人気店で、とても盛況でした。私たちも、久しぶりの会食とあって言葉も弾み駒澤愛を確かめ合いました。夏本番を迎えるにあたり、おいしい料理をいただきながら、皆さんとの会話を楽しみながら明日への活力につながります。各部の活躍も楽しみです。

駒澤会のメンバーは、とても気さくで、パワー全開の方が多く違和感も全くありません。子供たちが卒業後も元教育後援会のメンバーが手に手をつなぎ、現役学生の支援や親同士の交流をとおして、駒澤大学を応援し続けている姿は駒澤会ならではの伝統だと思います。大学では、教育後援会、同窓会、駒澤会を後援組織の柱であると位置づけております。それぞれの組織の役割と特徴を生かしながら、さらに連携を深めることが駒澤大学の礎をより強固にして行くものと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大も予断を許しませんが、状況を勘案しつつ「秋の研修会」の再開も模索しております。気持ちもあらたに、駒澤会に飛び込みませんか。

きっとまた、駒澤が好きになりますよ！



駒澤会創立 50 周年奨学金基金実施報告

駒澤会会長 一戸 隆男

皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素から駒澤会の活動へご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和 3 年 10 月 15 日に駒澤会は創立 50 周年を迎え、駒澤会の目的である「駒大生の学生支援」を永続的に実施するため、奨学金基金を充実させるべく「駒澤会創立 50 周年奨学金基金」を設立いたしました。会員の皆さまへ創立 50 周年記念誌「駒澤会のあゆみ」と共に発送してから今日まで、計 72 万円ものご寄付をお寄せいただき、駒澤会会員の皆さまからのあたたかいご支援に心より御礼申し上げます、以下のとおりご芳名録を掲載させていただきます。

駒澤会は奨学金の給付や情勢に応じた学生支援を実施し、一人でも多くの駒大生を永続的に支援すべく邁進してまいります。今後共変わらぬご厚情、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしく願い申し上げます。

駒澤会創立 50 周年記念奨学金基金ご芳名			
一戸 隆男 様	石井 純子 (洋一) 様	奥田 弘恵 様	久保田 良 様
黒田 睦美 様	坂本 正子 様	鈴木 伸二 様	滝沢 憲示 様
田中 隆一 様	溜 修一郎 様	土田 好雄 様	永井 政之 様
長谷部 八朗 様	堀 純一郎 様	村田 保廣 様	森屋 正治 様
山田 直重 様	吉田 稔 様	他匿名 12 名	

※ 今回は令和 3 年 10 月下旬から令和 4 年 6 月末日までの期間にご寄付いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

駒澤会新役員紹介

役員任期:令和 4年 5月~令和 6年 5月



会長
一戸 隆男



副会長
赤堀 菊絵



副会長
山田 直重



副会長
木村 朋子



監査
市川 よし子



監査
荒井 喜久子



監査
三浦 ひろ子



総務部長
堀 純一郎



総務部副部長
軽部 雅美



総務部副部長
堀内 和代



広報部長
齋藤 和子



広報部副部長
山本 久美子



広報部副部長
桐畑 秀司



厚生部長
吉田 稔



厚生部副部長
楠 有紀子



厚生部副部長
滝沢 憲示

参与のご紹介



教育後援会会長
参与 久保 伸吾



教育後援会副会長
参与 櫻井 秀則

令和4年度も教育後援会の会長・副会長に参与をお勤めいただきます。

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせいたします。

運用先	令和3年8月～令和4年7月までの利金	備考
野村証券	115,174 円	みずほ・三菱 UFJ 社債
みずほ銀行	12 円	普通預金利息
世田谷信用金庫	8,191 円	定期預金利息
合 計	123,377 円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・谷国（タニクニ）までご連絡ください。

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和3年8月初旬から令和4年6月末日までの期間にご入会いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

坂本 正子 様	中島 竜平 様	松尾 哲雄 様	新井 康祐 様
佐藤 幸美 様	奥田 弘恵 様	上松 一雄 様	元井 隆敏 様
渡邊 泰信 様	飯島 由夫 様	伊南 俊男 様	大場 敏正 様
梅津 広全 様	間島 満 様	三橋 聡子 様	高橋 章 様
大村 智子 様	菅野 清美 様	湯田 久美子 様	他匿名 20名

広報部委員 石川 美乃利

食は大切。なぜならば、人の体は食べたもので出来ているから。
このようなことは日常的によく言われることです。私も聞かたびに相槌を打ちながら、実は半分聞き流して
いました。

しかし、先日、そのことを実感する出来事があったのです。

正直に言うと、人では無く犬なので恐縮ですが、紹介いたします。

我が家には間もなく 13 歳になる老犬サモエドがいます。昨年 8 月頃から体調に変化が起き始め、体重は減
少、足腰も弱くなり階段からは落ちる、お座りさえ苦しそうになってきていました。診察しても原因不明、
老化？と諦めながら過ごしていました。

しかし、思い返せば体調不良を感じ始めた頃、丁度毎回届けてもらう餌も変わっていたことに気がきました。
そこで取り急ぎ近所で市販の餌を購入。

それを与えること数日、なんだか元気が出てきて、お散歩では走り出す始末。そうなのです、シニア犬とはい
いえ、届けてもらっていたシニアの餌が合わなかったようなのです。

今では本当に間違えるように元気を取り戻すことができました。

人と犬では大きく違うと思いますが、私は我が家の老犬に食の大切さを改めて教えてもらいました。

どうぞ皆さま、体の元になるお食事にはお気を付けてください。

☆-★-☆-★-☆-★-☆-★
駒澤会新規会員募集中
★-☆-★-☆-★-☆-★-☆

駒澤会では新規会員を随時募集しており
ます。ご友人、お仲間、駒澤大学ご出身の
お子さまがいる方はいらっしゃいますか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行
事を通して楽しく交流しましょう♪♪

行事予定のお知らせ



【大学】

8/1～9/15

夏季全学休業期間

9/16～

後期授業開始

10/15

第 140 回開校記念日

11/4～6

オータムフェスティバル

【駒澤会】

8/25

教育後援会との懇親会

10/1～2

秋の研修会

10/22

役員会



【駒澤会ホームページのご案内】

駒澤会 検索 

スマートフォンはこちらからアクセス →



駒澤大学
駒澤会



駒澤会だより 第 36 号

発行日：令和 4 年 7 月 22 日

〒154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1

発行者：駒澤大学駒澤会広報部

TEL：03-3418-9189 / Mail：komazawakai@komazawa-u.ac.jp